

確認テスト

(3級) 第12回：CF計算書②－CF計算書のしくみ

問1 正誤判定

キャッシュフロー計算書が一定時点のストック情報を示しているのに対して、損益計算書と貸借対照表は一定期間のフロー情報を示している。

問2 正誤判定

企業がどの程度キャッシュを生み出す能力があるかを示すことは、キャッシュフロー計算書の役割の1つである。

問3 正誤判定

債権者に対する借入金の返済や株主に対する配当金の支払いなどを、期日通りに返済する能力があるかを示すことは、キャッシュフロー計算書の役割の1つである。

問4 正誤判定

損益計算書に記載される収益および費用と、キャッシュフロー計算書に記載されるキャッシュ・インフローおよびキャッシュ・アウトフローは、必ずしも一致しない。

問5 穴埋め

キャッシュフロー計算書は、企業の本業（主要な活動）を意味する（ ）活動によるキャッシュフロー、設備投資や余剰資金の運用を意味する（ ）活動によるキャッシュフロー、資金調達（借入）や借入金返済などを意味する（ ）活動によるキャッシュフローの3つに区分される。

解答

問1 正誤判定

キャッシュフロー計算書が一定時点のストック情報を示しているのに対して、損益計算書と貸借対照表は一定期間のフロー情報を示している。

⇒ **誤り**：貸借対照表が一定時点のストック情報を示しているのに対して、損益計算書とキャッシュフロー計算書は一定期間のフロー情報を示している。

問2 正誤判定

企業がどの程度キャッシュを生み出す能力があるかを示すことは、キャッシュフロー計算書の役割の1つである。

⇒ **正しい**：現金創出能力に関する説明。

問3 正誤判定

債権者に対する借入金の返済や株主に対する配当金の支払いなどを、期日通りに返済する能力があるかを示すことは、キャッシュフロー計算書の役割の1つである。

⇒ **正しい**：債務返済能力に関する説明。

問4 正誤判定

損益計算書に記載される収益および費用と、キャッシュフロー計算書に記載されるキャッシュ・インフローおよびキャッシュ・アウトフローは、必ずしも一致しない。

⇒ **正しい**

問5 穴埋め

キャッシュフロー計算書は、企業の本業（主要な活動）を意味する（**営業**）活動によるキャッシュフロー、設備投資や余剰資金の運用を意味する（**投資**）活動によるキャッシュフロー、資金調達（借入）や借入金返済などを意味する（**財務**）活動によるキャッシュフローの3つに区分される。